

キューバ、見て歩き

～ミミズで土づくり～

松井 和子

キューバ基本情報(2009年2月現在)



国名	キューバ共和国 Republic of Cuba
首都	ハバナ
面積	約 11 万 922 平方キロメートル(日本の本州の約半分)
人口	約 1124 万人
時差	日本時間マイナス 14 時間 日本の正午は、キューバ前日の夜 22 時。



日本の同じ、海に囲まれた小さな島国・キューバ。バスが走る道沿いに収穫期を迎えたサトウキビ畑が続く。日本のように町並みが続くことはない。国土の広さは日本の三分の一ほど、人口は約十分の一。

サトウキビ畑の他に果樹園も広がっている。草原でのんびり草をはんでいる牛や馬はやせて、太った牛を見慣れてた私の目を引いた。馬に乗っている人、馬車にも会う。

野菜などを作っている農地は見たところ少ない。それと一年中気温が高い国なのに、日本と比べて草は多くない。乾期だからだろうか。地質も日本とは違うように思えた。

そんなキューバの、ホテルの食事は、どこも食べ放題。あれもこれも美味しい、食べたいと過ごしていたら、いる間に太ってしまった。

野菜作りをしている農場を訪ねた。

キューバでは、スペインが入って来てから野菜を食べるようになったという。それでも米・豆・肉が中心で野菜は少ししか食べなかったが、最近は消費量が増えているそうだ。

ハバナ市内には、国営17カ所(約2ヘクタールのもの)、個人経営700カ所があり、野菜は100%自給できている。仲介業者はいない。化学肥料もまったく使っていない。

一年中温暖な気候のキューバでは、約6.5回のローテーションで野菜が作られている。野菜は、国営・個人経営どちらも、土作りをし、その土を土盛りしたところで育てていた。※

※土づくりは畑の脇で行われていた。人間と同じで、良い土だと野菜も健康で害虫にも強くなる。野菜の屑、鶏糞、牛糞などを混ぜて積み上げ、散水で発酵を促進して作っている。

害虫駆除としては、①天敵の昆虫生産 ②サワキワ(タバコを生産するときの副産物)や害虫が嫌う木の利用 ③農地を清潔にする、雨期に水に浸かりっぱなしにしない ④害虫を寄せ付けないためハーブなどを近くに植える。濃淡、色の違う野菜を混ぜて植えると虫が付きにくいなど。

日系のオルガ大江さんの経営する、13ヘクタールの農園「日本人」は、ご夫婦とも科学者だったが、1993年ソビエトの崩壊でキューバが経済危機に陥り、食べものがなくなった時、野菜作りを始めたのがきっかけだそうだ。今では有機農法のオルガとして有名、個人経営には協同組合があり、売り上げの5%を国に納めるのだそうだ。

らよっと、ひと休み

初心にかえって 字の練習



テレビもおもしろくないし、本を読む気もしない、なんとなく手持ちぶさたな時におすすめです。100円ショップで売っている字の練習帳が役立ちます。行書、楷書、筆ペン、ボールペンといろいろありました。眠気防止にもよいですよ。つついとお菓子をつまんでしまう人には、ダイエットにも・・・

～タバコはがんのもと～

タバコを止める相談や治療は保険診療でできます
ニコチン依存を断ち切って、健康な生活を!!

